

[公開] 農村計画委員会：

## リレートーク & WEB討論 「RUBBAR—セトギワ建築論 2020」

【企画】 日本建築学会 農村計画委員会 ルーラルデザイン小委員会

地域に根ざし、地域をつくる建築  
RUBBAR: RUral-Based and rural-Build ARchitecture  
とは、いま改めて、どんなものだろうか。

その糸口として「セトギワ建築」をとりあげる。  
ポツンと一軒家も、災害復興も、歴史的建造物の保存も、セトギワに立たされつつ、  
次の地域を構築するための手がかり、フロンティアとなりうるのではないか。

セトギワ≡フロンティアでは、地/図/時が反転することもある。  
拠点施設が仮住まいの場になり、かつて見向きもされなかった建物が大事にされる。  
建築家像もまた同様で、主役ではないことも多い。

そのようなルーラルの現場に実存する建築・建築群をヒントとして、  
セトギワとフロンティアを闊歩する研究者、建築家、修復家らのリレートークから、  
RUBBAR の具体的な目標像を見出したい。

---

### リレートーク\*上映/WEB討論

日時：2020年9月10日(木) 13:00-16:00 会場：オンライン (Zoom)

定員：100名 (申込先着順) 参加費：無料 (資料なし)

申込方法：WEB申込み \*以下のURLよりお申し込みください。 申込締切：8月28日(金)

<https://docs.google.com/forms/d/1x1TYJ-uglcUTpeDi2s2rncDQTxVtS1tsl0az1wxQ804/edit>

問合せ：[aijrubbar@gmail.com](mailto:aijrubbar@gmail.com) (担当：大沼・平田・三笠・下田・宮崎・菅原)

\*リレートークは、WEB討論のスムーズな進行のため、話題提供者のフィールド調査や設計作品について、インタビュー形式で紹介頂く動画を収録したものです。(収録：2020年7月～8月)

#### 【参加にあたっての注意事項】

- ・お申込みいただいたメールアドレス宛に、申込締切後、Zoom参加用URLをお送りします。
- ・視聴にはPCやタブレットなどの端末と、インターネット環境が必要です。通信料は参加者のご負担となります。
- ・受信映像や講演資料の保存(画面キャプチャ、カメラ撮影等)、録音、再配布は禁止です。
- ・参加用URL等をシェアすることは固くお断りいたします。各人でお申し込みください。
- ・録画配信ではございませんので、開催後の視聴はできません。
- ・開催30分前から入室を可能にします。当日は早めに接続し音声・映像等がきちんと流れるか確認されることを推奨します。
- ・Zoomの使い方・動作環境についてのご質問にはお答えできません。Zoomのアプリケーションをご利用の場合は、最新版への更新をお願いします。Zoomヘルプセンター (<https://support.zoom.us/hc/ja>) をご参照ください。
- ・参加者の環境やそのときの回線状況により、やむを得ず中断される可能性があります。その場合は本会では責任を負いかねますので、あらかじめご理解のうえお申し込みください。

## 【プログラム】

### 13:00-14:15 5人の研究者・建築家のリレートーク（収録動画の配信）

- (1) 趣旨説明／山海の居住地理とフロンティア 平田隆行（和歌山大学）  
「セトギワの農山漁村集落には、どんな可能性があるか？」  
趣旨説明＋聞き手 大沼正寛＋池ノ上真一
- (2) 世界と日本のセトギワ建築 中谷礼仁（早稲田大学）  
「建築・集落の持続—セトギワ—その先 には何があるか？」  
聞き手 平田隆行＋佐藤圭一
- (3) 実測野帳による建築との対話 渡邊義孝（尾道市立大学）  
「セトギワの建築遺構が語るデザインとはどんなものか？」  
聞き手 津村泰範＋宮崎篤徳
- (4) 南三陸町・ルーラルの設計現場 阿部 正（ノーマルデザインアソシエイツ）  
「復興というセトギワで、使い手・職人・建築家は共創できるか？」  
聞き手 稲地秀介＋菅原香織
- (5) さいはての風景と建築の力 渡辺菊眞（高知工科大学）  
「セトギワからフロンティアへ、いかに建築は立ち上がるのか？」  
聞き手 三笠友洋＋下田元毅

### 14:15-14:40 コメンテーターによるコメント

山崎寿一（神戸大学）＋布野修司（滋賀県立大学名誉教授）

### 14:40-15:30 WEB討論「セトギワ建築論 2020」

山崎寿一＋布野修司＋平田隆行＋中谷礼仁＋渡邊義孝＋阿部正＋渡辺菊眞＋小委員会委員